

高知保険医協会 市民公開講座

「マイナ保険証」は本当に大丈夫か？

～マイナンバー制度の危険性にもふれて～

国は、健康保険証を廃止しマイナンバーカードと一体化することで、医療情報の収集と利活用を進めようとしています。そのための基盤としてオンライン資格確認が原則義務化されました。医療情報のデジタル化とその利活用ばかりが先行していますが、国民・患者の人権を守る仕組みを整備することが求められます。

マイナ保険証とマイナンバー制度の何が問題なのか、医療DX・デジタル化を推進する政策的な背景と現状、課題について解説します。

日時：6月11日(日)午後2時～午後4時

会場：高知会館2階「白鳳」

(高知市本町5-6-42・TEL088-823-7123)

参加費：無料

オンライン参加（ZOOM ウェビナー）も可能です

主催／高知保険医協会

(高知市河ノ瀬町41-1-4F TEL. 088-832-5231 FAX. 088-832-5229)

講師紹介

寺尾 正之(てらお まさゆき)

東京都生まれ。

現在、公益財団法人日本医療総合研究所 研究・研修委員、医療法人財団健和会医療介護政策室主任研究員、元全国保険医団体連合会事務局次長。医療政策が専門。



著書に、『医療DXが社会保障を変える

～マイナンバー制度を基盤とする情報連携と人権～』（共著、自治体研究社）、『コロナ禍で見えた保健・医療・介護の今後～新自由主義を超えて』（共著、新日本出版社）、『国民皆保険崩壊の真実』（共著、日本経済新聞出版社）、『誰でも安心できる医療保障へ』（共著、大月書店）、『TPP・FTAと公共政策の変質』（共著、自治体研究社）、『安倍政権の医療・介護戦略を問う』（共著、あけび書房）、『皆保険を揺るがす「医療改革」』（共著、新日本出版社）、『後期高齢者医療がよくわかる』（リヨン社）、『「医療改革法」でどうなる、どうする』（新日本出版社）ほか

電話、FAX、あるいは当協会ホームページ

(<https://hkni.biz/>) から

協会HPはこちら

参加のお申込みをお願いします。

TEL. 088-832-5231

FAX. 088-832-5229

